

2022年10月6日

熊本県知事 蒲島 郁夫様

代表連絡先（賛同団体は別紙掲載）

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880

市房ダムの緊急放流への抗議とダム無しシミュレーションを求める申し入れ

先月19日、熊本県を通過した台風14号は県内に大きな被害をもたらしました。球磨川流域でも、台風による大雨で水位が上昇し、行政機関は18日の時点で、住民に対して避難指示を出しました。市房ダムは、19日午前3時過ぎから5時過ぎまで緊急放流を行いました。台風接近前の15日深夜から17日夕方まで事前放流を行ったそうですが、2020年7月の豪雨を上回る降雨量により、最終的にダムが満杯になることを防げなかったとのことです。

ダムの下流の住民は、今回の緊急放流に対して、大きな不安感を覚え、知人に何度も「ダムは大丈夫なのか」と聞いた人もいれば、「殺す気か」とさえ思った人もいると聞いています。

ダムは想定以上の降雨による洪水には洪水調節効果を発揮できず、ダム自体を守るために緊急放流を行い、下流を危険にさらしてしまうという問題が、今回改めて明らかになりました。住民に安心・安全をもたらさず、不安と恐怖、危険しかもたらしません。仮に川辺川ダムができれば、二つのダムの同時緊急放流の危険性の下流の住民は襲われてしまいます。

大雨が降り、大きな洪水が来るたびに住民は緊急放流に備えて、避難を余儀なくされるということは、このダムによる治水が根本的に間違っていることを意味しています。貴職は「ダムによって下流域の安全を確保できた」などと述べていますが、何を根拠にしているのでしょうか。私たちは、このような市房ダムに頼る治水のみに固執し、必要な河川改修を怠ってきた貴職に抗議し、下記事項を求めます。

記

1. ダムによらない河川整備を実施すること。
2. 「ダムによって下流域の安全を確保できた」などと言う前に、市房ダムが無かった場合の水位や流量などをシミュレーションすること。その上で、今回の実績データと比較して効果があれば、始めてダムの効果があったと言える。ダムが無い場合のシミュレーションがなければ、実績データと比較しようがなく、ダムの効果があったとは言えない。
3. 市房ダム下流にライブカメラを設置し、放流の状況をリアルタイムに住民に知らせ、避難行動の判断材料にすることが出来るようにすること。

以上

賛同団体一覧

7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子 市花 保
坂本町被災者・支援者の会 代表 本田 進
ダムによらない復旧・復興を求める人吉・球磨の会 代表 林 通親
清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣
美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃
瀬戸石ダムを撤去する会 共同代表 出水 晃 上村 雄一 本田 進